

令和元年度

# 議会報告会 報告書



(高城生涯学習センター)



(山田総合支所)



(ウェルネス交流プラザ)



(山之ロシルバーヤングふれあいの里)

令和元年9月19日

都城市議会 広報広聴委員会

令和元年 9 月 1 9 日

## 都城市議会報告会 報告書

### 1 全般成果

今年度より開催方法や広報の方法等を大幅に変更して実施した。特に各会場ごとにテーマを設定し、テーマに沿った報告を短時間で行い、その後の意見交換会も小グループで行うなどできるだけ参加者から意見を聞く時間を多く取ったことは大きな変更だった。意見交換会も市民が議員に要望を伝えるということではなく、議員と一緒に都城市について考えるという進め方にした。広報も自治公民館長の皆様に開催のお知らせはするものの、動員をお願いするということを行わず、広報広聴委員自ら市内の学校に案内文書を持参したり、スーパーにポスター掲示のお願いをしたり、手配りで市内各所でチラシを配付したりした。

結果的には、参加者は大変少なく、高齢者の方が多いという従来と同じようなことにはなってしまったが、参加された皆さんの満足度は大変高かったように思う。アンケート結果で今後議会報告会が開催されたらまた参加するかという問に対し、しない、あまりしたくないという回答が0であったことからそのことが読み取れる。

今回の報告会をもとにさらに改善を重ねて、次年度の議会報告会につなげていきたい。

### 2 報告内容

- (1) 議会の活動状況（市議会の役割等）
- (2) テーマに沿った市と議会の取組（令和元年度の事業等を中心にして）

### 3 開催日・場所・担当班

- (1) 令和元年 8 月 1 7 日（土） 高城生涯学習センター 1 班
- (2) 令和元年 8 月 1 7 日（土） 山田総合支所 2 班
- (3) 令和元年 8 月 1 8 日（日） ウェルネス交流プラザ 3 班
- (4) 令和元年 8 月 1 8 日（日） 山之口シルバーヤングふれあいの里 4 班

### 4 班編成

班	場 所	班 員			※ ●は班長
1 班	高 城	●大浦議員 中田議員	徳留議員 森 議員	迫間議員 畑中議員	小玉議員 赤塚議員
2 班	山 田	●長友議員 中村議員	江内谷議員 岩元議員	上坂議員 山内議員	福島議員 川内議員
3 班	旧市内	●永田(浩)議員 西川議員	赤塚議員 広瀬議員	別府議員 山内議員	筒井議員
4 班	山之口	●杉村議員 森 議員	荒神議員 中村議員	音堅議員 岩元議員	神協議員 黒木議員

5 報告会参加者（議員及び関係者の参加者を除く）

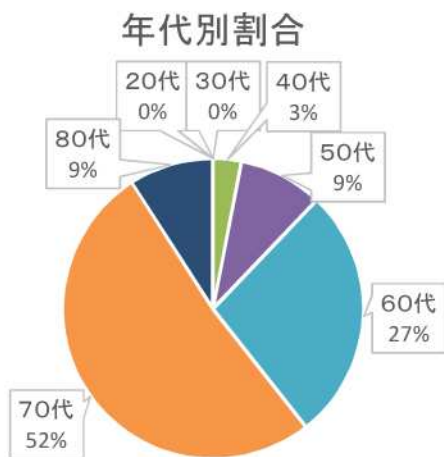
- (1) 高城生涯学習センター 10名
- (2) 山田総合支所 8名
- (3) ウェルネス交流プラザ 14名
- (4) 山之口シルバーヤングふれあいの里 3名

6 議会報告会開催への広報活動状況

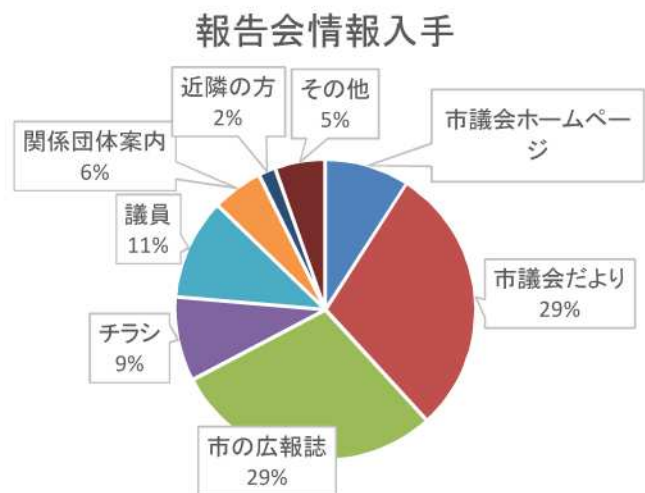
- (1) 小中学校、高校、高等専門学校、専門学校、大学等への案内文書、ポスター掲示
- (2) 開催地区の公民館長会での挨拶（山之口は台風で中止のため挨拶できず。）
- (3) スーパー等へのポスター掲示とチラシ配布
- (4) 市役所玄関でのチラシ配布
- (5) 市役所内掲示板へのポスター掲示
- (6) 議会だよりNo 21, 22への開催案内記事
- (7) MRTラジオ「ドキドキナビ」での開催案内放送
- (8) 「暮らしの情報」への開催案内記事
- (9) 市内の公園でのチラシ配布
- (10) 市役所ホームページ、Facebookへの掲載

7 議会報告会事後アンケートをもとにした成果、改善事項

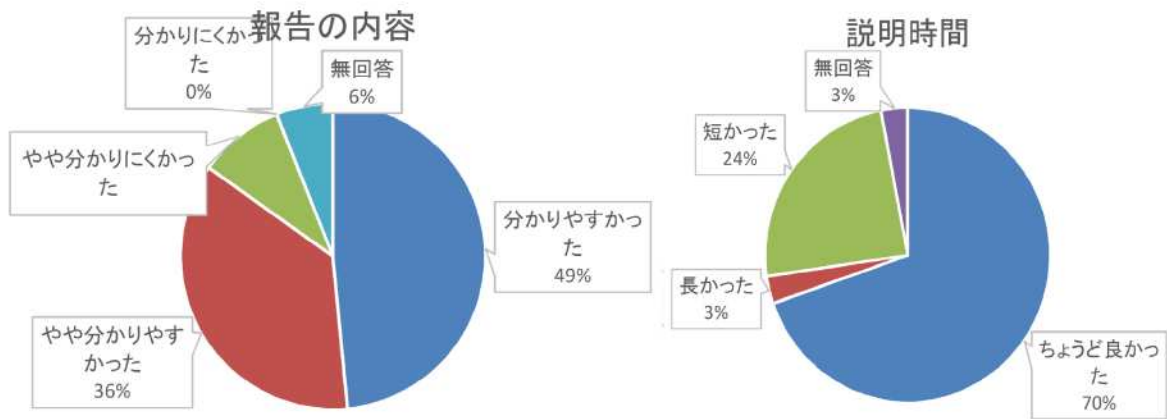
(1) アンケートの数値集計結果



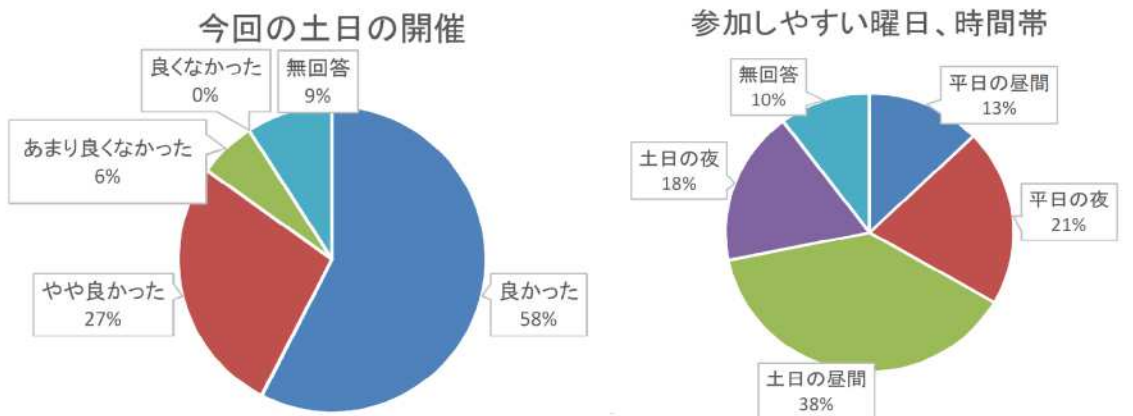
若い人の参加をねらって改善したが、ほとんどが高齢者だった。



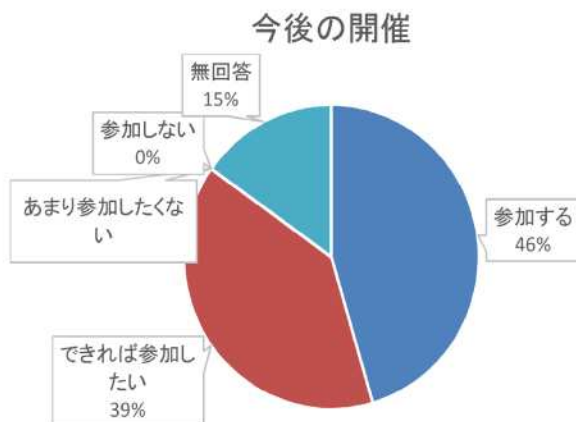
回覧板（昨年42%）を活用しなかったため、他の所からの情報入手が増加



短時間でテーマに沿った報告については、多くの方から支持されている。



参加された方にとって、今回の土日開催は好評だったが、平日開催の希望も3割以上あるようだ。



ほとんどの参加者が今後も参加してくれそうだ。意義のある議会報告会になったと思われる。

(2) アンケートの記述部分のまとめ（広報広聴委員からの意見も含む）

○成果 ●改善 □意見

### 曜日

- 土日が出席しやすい。
- 平日では参加できないが休日開催で参加できた。
- 土日開催でも結局行けない人はいけない。正解はないのではないかといろいろなパターンを試してみることが大事である。
- 地域の内容について説明があり、休日開催で大変良かった。
- 昼間は何かと忙しい。

### 参加者

- 女性が少ない。
- 今日は若い人の参加が少なくもっと工夫が必要ではないかと思う。
- 子育て世代の方は出会う余裕がなかったのかもしれない。また、子ども連れでの参加で迷惑をかけるかもしれないという思いもあったかもしれない。
- 参加者の少なさに驚いた。

### 報告会

- 報告した議員の市長の役割、議会の役割の説明がよかった。
- もう少しゆっくり詳しく説明して欲しい。
- ペーパーを準備して欲しかった。

### 意見交換会

- 市議会議員と直接意見交換ができて良かった。
- 少ない人数ではあったが意見はよく出た。
- 今回取り入れた座談会形式は概ね好評であった。
- 意見交換を小グループで行うことで、これまでの市民が議員に対して要望や意見を言うという形式から市民同士でも意見を交換するという広がりが出てきた。
- 意見を言っても反映されない返答すればいいと思う。
- 議員のファシリテート能力の向上は必須だと感じた。
- 一つのグループには少しでも多くの議員がいることで、いろいろな議員の意見を聞くことができ、意見交換が活発になるのではないか。

### テーマ

- テーマを一つに絞って行ったことは良かったと思う。
- 幅広い話をして一人一人の議員にお願いをしたい。
- もう少し具体的な項目をテーマにしても良かった。
- 地域の活性化のテーマだったので、地域外から参加した者にはなかなか意見を言いにくいと感じた。
- テーマが大きすぎて 60 分程度の時間では足りなかった。
- 地域の課題中心ではなく都城全体のことを議題にしてほしい。
- テーマは参加者の意見で設定すべき。
- 事前設定であれば十分な周知が必要ではないか。
- グループ協議のテーマが決まっていると、市民から出されるいろいろな方向の意見を軌道修正するのが大変であった。

- テーマを絞ったことは賛否両論であった。各会場の中でテーマごとにグループ分けするといふ。

### **広報**

- P T Aの案内を見て参加された方がいたのは収穫である。
- 開催を知らない人が多く、広報車を巡回させた方がよかったのではないか。
- 公民館長会に出席できなかつたことが響いて集客に失敗してしまつた。
- 集客方法の抜本的な見直しが必要ではないか。
- 広報の仕方をもつと工夫する必要がある。
- 開催する地区だけでも回覧文書を入れる必要があつた。
- P T Aの文章はほとんどの学校では役員まで降りてきていない。配合方法の見直しを考えるべきである。
- P Rしている姿をマスコミ等に取材してもらふなどもつと積極的を見せてもいいのではないか。
- 回覧版がある程度効果があつたのだということがわかつた。
- 周知については全議員が協力して広報活動をすべき。

### **その他**

- これまでの行くだけの議会報告会よりもとても良い形の参加型の議会報告会だつた。
- 報告会の開催についてもう一度全議員で再確認すべき。報告会をするのは政策提言に繋げる為であると思ふ単に質問に回答するだけの会ではない。
- 参加者が少なかつたが継続して開催してほしい。
- 議会報告会の形を見直す時期にきている。市民に来てもらうから出向くへ。
- 出前報告会は是非やるべきだが現在の報告会も年に1回でもやるべきである。
- 出前報告会「議員と語る会」に大きく舵を切るべきである。
- 何のために議会報告会をするのかという論議を深めていく必要がある。
- こども園、保育園、幼稚園での諸行事の中に出前形式での議会報告会を入れ込んでもらうことで、子育て世代の話聞くことができるのではないか。
- 議会報告会の名称は「議員と語ろう会」の方が合つているのではないか。

### **運営**

- 班によって事前の打ち合わせに差があり、当日の議員の役割がスムーズにいかなかつた班もあつた
- 議員は報告会の時には名札をつけて欲しい。

### **開催方法**

- 高校や大学などで意見交換をしてはどうか。
- 高齢者学級、生き生きサロン、こけない体操などと同時開催してはどうか。
- 年に1回なので15地区全域でやってほしい。

# 議会報告会アンケート集計【令和元年8月17日、18日】

アンケート総数  出席者  回答率

問1	年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
	割合	0%	0%	3%	9%	27%	52%	9%

問2 議会報告会の開催を何で知りましたか。

- 市議会ホームページ  
15%
- 市議会だより  
48%
- 市の広報誌  
48%
- 市役所等にあったチラシ  
15%
- 地元の市議会議員  
18%
- 関係団体への案内  
9%
- 近隣の方  
3%
- その他(無回答含む)  
9%

※ 無回答

その他の内容	公民館長会議
	フェイスブック

問3 第一部の議会報告についてお伺いします。

(1) 報告の内容はどうでしたか。

- わかりやすかった  
48%
- ややわかりやすかった  
36%
- ややわかりにくかった  
9%
- わかりにくかった  
0%

※ 無回答

意見	もう少しゆっくり、詳しく説明してほしい。聞こえにくかった。
	ペーパー(印刷したもの)を準備してほしい。
	観音池の準備計画は、大変嬉しかった。

(2) 説明時間はどうでしたか。

- ちょうどよかった  
70%
- 長かった  
3%
- 短かった  
24%

※ 無回答

意見	時間が短いです。
----	----------

問4 第二部の意見交換についてお伺いします。

(1) 意見交換のテーマはどうでしたか。

わかりやすかった 30%     
  ややわかりやすかった 39%     
  ややわかりにくかった 18%     
  わかりにくかった 6%

※ 無回答

意見	目的が最初から決められていたのは問題あり。内容を絞ってやることは良かった。
	もう少し具体的な項目をテーマにしても良かったのではないかと思います。
	子育ては大事だが、広い視野で、市、地域を含めた意見交換会に。
	テーマを当日にでは、意見の材料を持っていなかった。
	地域の活性化のテーマだったので、地域外から参加したものには中々意見を言いにくいと感じた。
市内全体でのテーマと思っていましたが、地域限定での話だったのでなかなか難しかったです。	

(2) 今回、意見交換をグループごとに行いましたが、進み方はどうでしたか。

よかった 36%     
  ややよかった 48%     
  あまりよくなかった 15%     
  よくなかった 0%

※ 無回答

意見	テーマが大きすぎて60分程度の時間では足りず、参加者それぞれの思いを発表する場となって終わって地域の特色ある行事を活性化に繋げる、難しい話もあり、市議会の話に関心を持ってもらっていると思った。
	各人それぞれの意見ができた。
	一部の人の意見を聞くことになっていた気がする。
	テーマを一つに絞ってやったことはよかったと思う。
	参加者全員にいろいろ意見を聞こうという配慮はありがたかった。

問5 今回、土・日曜日に開催しましたがどうでしたか。

よかった 58%     
  ややよかった 27%     
  あまりよくなかった 6%     
  よくなかった 0%

※ 無回答

意見	初めての参加でとまどった。
	女性が少ない。
	土日が出席しやすい。
	周知の仕方に工夫がいるのでは。
	土曜の14時から、この時間で集まるかなあという印象です。

問6 議会報告会に参加しやすい曜日、時間帯はいつですか。

平日の昼間 15%     
  平日の夜 24%     
  土日の昼間 45%     
  土日の夜 21%

※ 無回答

意見	いつでもよい。
	昼間は何かと忙しい。
	夜間でも良い事もあるが、地域を知らない人間には場所が分かりづらい。



問7 今後、議会報告会や意見交換会が開催された場合、参加しますか。

15 参加する  
45%

13 できれば参加したい  
39%

0 あまり参加したくない  
0%

0 参加しない  
0%

※ 無回答  5

意見	内容を知るため参加したい。
----	---------------

問8 その他、意見 No.1

ご意見
高校や大学などで意見交換をしてはどうか。
高齢者学級・いきいきサロン・こけない体操など活用して同時開催してはどうか。
郷土に誇りをもって、郷土を発展させ守る教育を地域全体で。
一回によく知らない人達では、まとめの時に難しいのではないか。
議員の皆さんは名札を付けてください。
市議会議員と直接意見交換ができて良かった。
市民の民意がおろそかになると、権力者の横暴が強くなる。
都城市は10数年前に合併を推進したが、一理はあるものの欠点・欠陥が多すぎて旧4町は活力・活性化に衰退減少が見られ、寂れて人口減、若者の集落離れとなり老人だけの集落も多くなり空き家も増加の一途をたどっている。合併の見直し特に●●の一極集中を見直して地方の活力あるように仕向ける施策が絶対必要である。市長と市議会は常々べったりとならず、チェック機能を失楽しないように。
連絡できず出席者が少なくて迷惑をかけました。またよろしく願います。
参加者の少なさに驚いた。
安心して子育てできるためには、子どもの医療費をせめて小学校卒業まで無料にしてもらいたい。人口減少の問題ではないかと思う。
子ども支援、環境問題～プロジェクトチームを作り推進していく。
地域性の問題もあるが、市行政、市民でのプロジェクトを作るべきである。
都城市で得意とある地域作りが大事で、合併した4町は一層過疎化になっているので考えてほしい。
年に1回なので、15地区全域でやってほしい。
参加者が少なかったが継続して開催してほしい。継続は力なり。
市の人口減に対処するために雇用促進を図る。
大型の商業施設の導入(コストコなどを誘致する)
空き店舗の活用
今後、地域の状況を把握して、議会の方にあげていただきたい。
各地区の市民全体の意見をまとめ、今後の子育て等を早く実施計画を立てて行動していただきたい。
広瀬議員の市長の役割、議会の役割の説明がよかった。
議会のチェック機能が都城市議会ではきちんと機能しているのか分からない。議会で採択されたことを市長が実行しないことに対して、もっと議会でチェックしてほしいと思います。
今日は若い人の参加が少なく、本当に子育ての生の声を吸い上げるためには、開催の仕方にもっと工夫が必要なのではないかと思いません。
幅広い話をして一人一人議員さんをお願いしたいです。
人材は集落にもいますが、率先してやろうと前に出てくる人が少ない(いない)何かいい手はないか考えたい。
もっと市民に開かれた議会報告会をしてください。もっと市民全体が活目される市政にしてほしいです。東九州道の4車線化、新幹線の建設に尽力してください。
これまでの議会報告会(聞くだけの会)よりも、とても良い形の参加型の議会報告会でした。議員の皆様、事務局が苦勞されながら新しい良い形の報告会を作り上げられていることを感じる。
進行担当の議員さん、意見交換に参加された議員さんがうまくまとめて下さいました。
市民は民意が軽視されたら活力がゼロになる。
旧町政を見直し権限、権力を与えるべきだ。中央だけが反映しても4町が崩壊したのでは意味がない。

# 議会報告会の報告書 No.1

提出日	令和 1年 8月 26日 ( 月 曜日)
班長名	大浦さとり
記録者名	徳留 八郎 ・ 迫間 輝昭 ・ 畑中 ゆう子

開催日時	令和 1年 8月 17日 ( 土 曜日) 10時より		
開催場所	高城生涯学習センター		
出席した議員	徳留 八郎	迫間 輝昭	小玉 忠宏
	中田 悟	森 りえ	畑中 ゆう子
	赤塚 隆志	大浦 さとり	
出席した議長・副議長	榎木 智幸	永田 照明	
参加人数	10 人		
班の感想 (あればお書き下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>• 普通の日では、参加できないが、休日開催で参加できた。</li><li>• 封書で案内が届いたので、参加できた。</li><li>• 開催を知らない方が多く、広報車を回したほうがいいのでは。</li></ul> <p>参加者の方々からは、議会で、地域の内容について説明があり、休日開催で大変良かった。との声を聞いた。</p>		

\*班長は、記録者の報告書 (No.1 とNo.2) を基に最終確認し、議会事務局へ提出して下さい。(提出期限は、報告会終了後一週間以内となっています。)

# 議会報告会の報告書 No.2

## 《第1部》 議会の報告

参加人数 ( 10 ) 名

### 報告内容

●市議会と市長は、それぞれ市民の皆様から選挙で選ばれてお互いに独立した立場、対等な立場で協力し合い、お互いに意見を出し合いながら、住みやすいまち、安全なまちをつくるためにさまざまな仕事しています。これを、二元代表制といいます。

●市議会は、市長が提案した、予算案や条例について審査します。また、市民の皆様から頂いた請願や陳情について審査し、さらに、国や県に対して問題の解決を図るため意見書を提出します。これらは、主に議会の会期中に行われます。お手もとの議会だより 17号、見開き2、3ページをご覧ください。年間を通した議会の内容について説明させていただいております。また、閉会している時期には、今回のような議会報告会を行うほか、研修や視察へ行ったり、勉強会を開いたり市民の皆様からご意見を聞いて、問題解決のために、議員自らが調査研究し行政に対して政策を提言したりしています。

●次に、市議会の構成について説明します。

議長、副議長は議員の中から選出します。

また、議員は各委員会へわかれ、委員長・副委員長を選びます。

なお、議長は、委員会には属しません。委員会については、大きく分けて議会運営委員会、常任委員会、特別委員会があり、任期は原則2年となっています。

各委員会については、お手元の資料をご覧ください。議会だより 17号の表紙、および4ページに詳細が記載されています。議会運営委員会は、9名で構成されています。議会を円滑に運営するため協議する。議会に関する各種の意見調整を図る。また、議長の諮問を受け意見提供するといった役割を担っています。

- ・総務委員会
- ・文教厚生委員会
- ・建設委員会
- ・産業経済委員会
- ・広報広聴委員会

の5つの委員会は、常任委員会として、常時設置されています。

一方、特別委員会は、特定の案件を審査するために臨時的に設置される委員会です。現在、都城志布志道路建設対策特別委員会のみが設置されています。

●それでは、ここ高城地区の令和元年度の予算関係を中心にご説明いたします。まず、一番大きな事業として「都城インター工業団地桜木地区整備事業」があります。平成29年度より着工しており、本年度の総事業費は一般会計 2億9748万円で市道整備関連を、特別会計11億1918万円で土地造成・調整池関連工事を実施する予定で、総額14億1666万円を計上し、平成31年3月定例会において、承認されました。この事業の目的は、都城インター工業団地穂満坊地区に続く、新たな工業団地を整備することにより、本市の持つ「地の利」を最大限活かすよう、宮崎自動車道、都城IC周辺の高城町桜木地区を整備するものです。都城志布志道路の完全開通も目前となり、ますます都城市の活性化のため、雇用の創出や地域活性化の起爆剤として、議会としても期待を寄せているところです。完成は令和4年度としており、令和元年6月定例会に於いて、北工区約16haの造成工事を「大淀・都北・上村特定建設工事共同企業体」、俗に言うJVですが、南工区約13haについては「丸昭・桜木・徳満特定建設工事共同企業体」との工事請負契約を議会として承認可決しました。議会便り22号の8ページ、総務委員会報告に記載しております。

●次に、新聞等で報道されましたので、ご存じの方も多いと思いますが、本社が愛知県にあります、「株式会社松尾製作所」が都城インター工業団地穂満坊地区において自動車関連の各種精密部品の製造をおこなうこととなりました。そのため、都城インター工業団地穂満坊地区の土地売却について、6月定例会において審議し、雇用問題を中心に賛成、反対の討論が行われた結果、賛成多数で可決されました。工事完了が令和2年2月28日となっており、令和2年10月より操業開始の予定となっております。完成後には新規雇用275名を見込んでおり、本市の地域経済活性化および雇用の創出に大いに寄与するものと議会としても期待しております。議会便り21号の9ページ、産業経済委員会報告に記載しております。

●続きまして、令和元年度予算、第2次都城市総合計画における事業として高城町軍神原通線、街路樹を整備する事業として、桜の植え替え事業が計画されております。令和元年度より、令和5年度までの5年間で、総額900万円の事業費を計上しており、本年度は150万円分の整備を実施することを3月定例会に於いて承認しました。

●同じく、観音池公園整備事業については、昨年度、平成30年度に事業化され、「桜倍増計画」として令和2年度までに、桜の植え替え総本数2500本、総事業費6千620万円をかけて観音池公園の桜の整備をおこなうものです。本年度は、桜の木 1000本、事業費2238万円をかけて整備する事業の予算を議会として承認可決しました。都城市の桜の名所のひとつとして、観光客やインバウンド対策としての効果が期待されております。議会便り21号の9ページ、建設委員会報告に記載しております。

○以上、当高城地区における 各種事業や立地企業の現況など報告させて頂きました。なお、これらの報告の質疑応答については、時間の関係上もうけておりません。アンケート用紙の方に該当欄を設けておりますので、ご記入くださると助かります。ご静聴ありがとうございました。

報告者（ 赤塚 隆志 議員 ）

## 《第2部》 意見交換

※内容をグループごとにお書き下さい。スペースが足りない場合は適宜広げて構いません。

( 1 ) グループ
参加人数 ( 6 ) 名
テーマ ( 地域の活性化について )
発言内容 発表者 森 りえ 議員
① 都城で子どもが生まれて地域に住むことが大事。 小中学校クーラー設置はインパクトがある、防災の役割からも体育館にもつけたらいいのではないかと。ふるさと納税はこれだと言えるインパクトのある使いみちを考えるべきだ。
② 意見を言っても反映されない、返答されれば良いと思う。
③ 高齢化して人が増えない、猿が増えて被害が広がっている、人が住める生き残れる地域をつかってほしい。
④ 地域の歴史を、故郷を誇りに思う教育をやってほしい。
⑤ 地域の課題中心でなく、都城全体のことを議題にしてほしい。都城の基幹産業農業から変えていく、変わり目にあるのでは。
グループ参加議員 ( 森 りえ ・畑中 ゆう子 ・小玉 忠宏 )

## 《第2部》 意見交換

※内容をグループごとにお書き下さい。スペースが足りない場合は適宜広げて構いません。

( 2 ) グループ
参加人数 ( 4 ) 名
テーマ ( 地域の活性化について )
発言内容 発表者 脇元 洋三 氏
① 誘致企業は地元のイベントに積極的に参加すべき。 公民館加入にも繋がるのではないかと。誘致の契約の中に入れていただきたい。企業は増えたが雇用は少ない、地元連絡協議会を立ち上げたらどうか。
② 石山観音だけが、活性化につながり、有水・四家あたりは過疎化している。鳥獣被害が多い。 婚活事業を継続してほしい。市営住宅にケーブルやインターネットをつなげて、若い人が住めるようにしてほしい。
③ 耕作放棄地が多いので、利活用出来るようにしてほしい。後継者がいない。
④ 企業は増えたが、雇用が少なく働ける場所はすくない。 老後の田舎暮らしのPRを。
グループ参加議員 ( 徳留 八郎 ・迫間 照明 ・中田 悟 ・赤塚 隆志 )

# 議会報告会の報告書 No.1

提出日	2019年8月26日（月曜日）
班長名	長友 潤治
記録者名	川内 賢幸

開催日時	令和元年8月17日（土曜日） 14時より		
開催場所	山田総合支所 2F		
出席した議員	長友 潤治	江内谷 満義	上坂 月夫
	福島 勝郎	中村 千佐江	岩元 弘樹
	山内 いとく	川内 賢幸	
出席した 議長・副議長	榎木 智幸	永田 照明	
参加人数	8 人		
班の感想 (あればお書き下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>・周知の方法</li><li>・話合った意見に対するフィードバック。</li><li>・テーマの事前通知</li></ul>		

\*班長は、記録者の報告書（No.1とNo.2）を基に最終確認し、議会事務局へ提出して下さい。（提出期限は、報告会終了後一週間以内となっています。）



# 議会報告会の報告書 No.2

## 《第1部》 議会の報告

参加人数 ( 8 ) 名
報告内容 ・山田総合支所複合施設整備事業 ・農林畜産業振興事業 ・移住定住 ・議会の概要
報告者 ( 上坂 月夫 )

## 《第2部》 意見交換

※内容をグループごとにお書き下さい。スペースが足りない場合は適宜広げて構いません。

( 1 ) グループ
参加人数 ( 4 ) 名
テーマ ( 山田地域の活性化について )
発言内容 ( 発言者 : 米吉 様 高崎 ) こんにちは、いろいろな山田町の魅力ある山田町を作るのにどうすればいいかとの話が出た。 館長に元公務員もいた。元々もっている山田町の良さを再発見する取り組みが必要。若者がよってくる街を作るにはどうすればいいか。若者が残らなければ都城の未来はない。 先代の人達が築いてきた文化遺産を青少年のために文化遺産として残していくのか、教育に生かしていけるか。 宮崎県がイコール都城。リーダーシップをもっと発揮すべき。 行政面では、もっと市民に知らせるべき。関心を持ってもらうことが大事という意見がでた。 宮崎県内を観光できるような取り組みをして欲しい。 市民の声をもっと聴くべき。大衆は愚にして、賢である。 行政にもっと市民も目を向ける場所を、機会をもっと作ってほしい。市長をもっと追及してほしい。 議会に、市全体の行政のありのままの、苦しい感じを解決してほしい。 市民に開かれた議会を。
グループ参加議員 ( 山内いっとく、福島勝郎、上坂月夫 )

## 《第2部》 意見交換

※内容をグループごとにお書き下さい。スペースが足りない場合は適宜広げて構いません。

( 2 ) グループ
参加人数 ( 4 ) 名
テーマ ( 山田地域の活性化について )
発言内容 ( 発言者：川内 )  ・合併して良かったのかという意見から始まった。 ・合併して良くなかったという意見が多い。 ・地域の活性化をするにはどうすればいいか。地域に若者を残すにはどうすればいいのか。 ・人材の育成が課題。 ・地域の良さは、参加した方々は十分に分かっている。その良さをいかに伝えていくのか。 ・まちづくり協議会を活かした取組。 ・まずはできることから魅力発信をすること。  ※テーマを事前に知らせて欲しいとの意見があった。
グループ参加議員 ( 中村千佐江、岩元弘樹、江内谷満義、川内賢幸 )

## 《第2部》 意見交換

※内容をグループごとにお書き下さい。スペースが足りない場合は適宜広げて構いません。

( ) グループ
参加人数 ( ) 名
テーマ ( )
発言内容
グループ参加議員 ( )

# 議会報告会の報告書 No.1

提出日	令和元年 8月 23日 ( 金曜日)
班長名	永田 浩一
記録者名	別府 英樹

開催日時	令和元年 8月18日 (日曜日) 10時より		
開催場所	ウェルネス交流プラザ 茶霧茶霧ギャラリー		
出席した議員	赤塚 隆志	永田 浩一	別府 英樹
	筒井 紀夫	西川 洋史	広瀬 功三
	山内 いっとく		
出席した 議長・副議長	榎木 智幸	永田 照明	
参加人数	14人		
班の感想 (あればお書き下さい)	<p>○ 子育て世代の方は出会える余裕がなかったのかもしれない。また、子連れでの参加で迷惑をかけるかもしれないという思いもあったかもしれない。</p> <p>○ 意見交換を小グループで行うことで、これまでの市民が議員に対して要望や意見を言うという形式から市民同士でも意見を交換するという広がりが出てきた。</p> <p>○ 一つのグループには少しでも多くの議員がいることで、いろいろな議員の意見を聞くことができ、意見交換が活発になるのではないか。</p> <p>○ グループ協議のテーマが決まっていると、市民から出されるいろいろな方向の意見を軌道修正するのが大変であった。</p> <p>○ 何のために議会報告会をするのかという論議を深めていく必要がある。</p> <p>○ 広報の仕方をもっと工夫する必要がある。</p> <p>○ こども園、保育園、幼稚園での諸行事の中に出前形式での議会報告会を入れ込んでもらうことで、子育て世代の話を聞くことができるのではないか。</p> <p>○ 議会報告会の名称は「議員と語ろう会」の方が合っているのではないか。</p>		

# 議会報告会の報告書 No.2

## 《第1部》 議会の報告

参加人数 ( 14 ) 名

### 報告内容

- 最初に議会と市長の関係についてお話をさせていただきます。  
まず、選挙で選ばれた市長はどんな仕事をしているかご存知ですか。
- 簡単に言うと、条例をつくる。予算を編成する。その編成した予算に基づいて事業を行う。地方税を掛けて徴収する。市役所の職員を指揮監督する。そうした市政を運営するための大きな権限を市長は持っていらっしゃいます。
- では、同じく選挙で選ばれた我々議員や議会は何をしているか、お分かりになりますか。
- これも簡単に言うと、先ほどの権限を市や市民のために市長が使っているかをチェックするという事。問題が無ければ特に何も無いが、問題があれば、この権限の使い方は変えた方がいいと市長に物申す。これが議会の大きな役割。まず、こうした大きな権限を持つ市長との関係の中で議会は活動しているということを理解いただきたい。
- 日本の総人口は15年ほど前から減少し始め、その後人口減少のスピードは段々と早まってきている。
- そうした状況の中で、より良い施策を実施し「人口の流出」を抑え、一方で「人口の流入」を促して人口減少のスピードを緩和していくというのが全国の自治体が目指しているところ。
- 自治体も選ばれる時代になってきているが、その選ばれる自治体の評価の目安として「子育て」関係の施策がとても重要だと言われている。
- まず、資料1の(4) 予防接種費について。予防接種については、受けた人の病気の発症と重症化を抑えることができるのはもちろんですが、予防接種を受ける人が増えれば、病気を発症した人がいても「流行」を防止することができる。そうしたことから都城市は資料にあるように色々な予防接種について助成を行っている。
- その感染症の原因ウイルスの中の一つであるロタウイルスは、主に乳幼児の感染性胃腸炎の原因となり、突然の嘔吐に加え水のような下痢の症状を引き起こすと言われている。
- ロタウイルスのワクチン接種の費用は、実施する病院でまちまちですが、実際に接種した方にお聞きしますと一価ワクチンで1回当たり1万6千円程度かかるそう。
- このワクチン接種は、昨年度まで希望者が自費で接種していたが、議会の一般質問でも何度か取り上げられ今年度からロタウイルスワクチン接種について助成が始まった。
- 次に、乳幼児医療費助成事業について。
- 子どもの医療費助成については、小学生、中学生まで、所によっては高校生まで助成制度を設けている自治体もあり、これまでの議会でも何度か拡充を求める一般質問がなされてきている。
- 一方で、子どもの医療費助成を拡大していくと、市の財政を圧迫する可能性があるの

で慎重に、という意見もあったが、一昨年度、昨年度と順次助成対象が広げられ、現在この資料にあるように小学校就学前の乳幼児の入院と通院について無料となっている。

○次に資料2の(1)放課後児童クラブ推進事業について。この事業は、放課後や学校が休みの時に子どもたちの居場所を提供するという、子育て支援というより働く親の就労支援の意味合いが強い事業。

○放課後児童クラブについては、資料にあるとおり、平成26年度の42か所から順次増えて、今年度は70箇所になる見込み。

○ただ、児童クラブは設置されればよいと言う事では無くて、より良い児童クラブ運営がなされなければならない。そうした事から、議会の一般質問では、児童クラブの待機児童はいないものの校区を越えて通っている児童がいる問題、児童クラブの空調機が故障したままで保育環境が悪くなっている問題、そして保育のあり方などの問題が取り上げられてきている。

○最後に資料3の(3)病児・病後児保育事業。これも先ほどの事業同様、働く親の就労支援という意味合いが強い事業。

○この事業は、子どもさんが一時的な病気により、体調不良で保育園や学校等へ行くことができず、保護者も仕事で看病することができない場合に、一時的に子どもさんを預かるというもの。

○市内には、昨年度まで病気になった子どもさんを預かる病児保育の施設はなかったが、これまでにこの病児保育施設の設置について一般質問がなされ、今年度新たに設置された。

○議会としてはこの4事業を含めた本年度の当初予算を賛成多数で可決している。

報告者 ( 広瀬 功三 議員 )

## 《第2部》 意見交換

( A )グループ

参加人数 ( 4 )名

テーマ ( 子育てしやすい都城市について )

### 発言内容

#### ① 議会報告会について

○参加者が少ない ⇒ PRの不足では。

○テーマの設定 ⇒ テーマは参加者の意見で設定すべき。

事前設定であれば十分な周知が必要では。

#### ② 議会活動について

○無記名の議決 ⇒ 市民にとって無記名議決の意味が分からない。

議員は信念をもって議決すべき

○反対討論の無い反対 ⇒ 一所懸命に活動しているのに何が

悪かったのか全く分からない。

※子育てしやすい都城 ⇒ 県議会への意見書は否決された

<p style="text-align: center;">⇒ 議員はどう考えているのか 遅れている状況を把握しているか</p> <p>⇒ 議会のチェック機能は働いているのか 議会の存在意義がない 議会と市民の考えの間に乖離がある</p> <p>③ 子育てについて</p> <p>○保育所の待機児童</p> <p>⇒ 都城市には待機児童がいると聞く ⇒ 待機児童はいないというのが市の公式見解 しかし 希望する所に入れたい人はいる模様</p> <p>○子どもの医療費助成</p> <p>⇒ 都城市は県内でも遅れている ⇒ 議会は知っているのか ⇒ 全ての経済的支援は難しい ⇒ どこまで、どう支援するか ⇒ 経済的に大変な世帯の子の支援はあった方が良い ⇒ 将来を考えると地域を支える人材となる</p> <p>○その他</p> <p>⇒ 人を育てるのには金がかかる</p> <p>④ 政治離れについて</p> <p>○若い人の無関心さ</p> <p>⇒ 公民館加入率の低下</p>
グループ参加議員（西川、広瀬）

## 《第2部》 意見交換

（ B ）グループ
参加人数 （ 5 ）名
テーマ （ 子育てしやすい都城市について ）
<p>発言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津田公民館、70世帯→400世帯に増えた。公民館加入率も90数%と大変高率である。ニジマス取り大会にも市内で一番ではないかと思われるほどの数の子どもたちが参加した。子育てしやすい環境作りができています。中心市街から戸建てを建てて転入するという方が多い。しかし、5反以上でないと購入できないという農地法の問題があり、誰でもはなかなか購入できない。</li> <li>・ 最近の子育てを見ていると、親がもう少し頑張りたいと思うことが多い。何でも買い与えたり、ネット漬けの子どもが少なくない。</li> <li>・ 親世代の人に残ってもらうためには、生活できる仕事をもっと増やす必要がある。</li> <li>・ 昔はあった仲人みたいな人がいなくなり、結婚の間を取り持つ人がいない。結婚しないままで独身という人も少なくない。少子化にも影響しているのではないかと。</li> <li>・ 地域活性化のためには、どうしても予算が必要なので、地域活性化事業をうまく活用する必要があります。</li> </ul>
グループ参加議員（永田、別府）

《第2部》 意見交換

( C )グループ
参加人数 ( 4 )名
テーマ ( 子育てしやすい都城市について )
発言内容 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自主性を育て、伸びやかに明るく地域で育て欲しい。</li><li>・ 都城には移住しにくい。子育て世代が移住したいと思える制度が必要ではないか。</li><li>・ イベントに参加できる家庭は余裕のある家庭</li><li>・ 地域差や家庭の差がある。</li><li>・ 公民館に入っていない家庭の子どもは、子ども会の行事に参加できない。</li><li>・ 親が出すぎ</li><li>・ 子どもの医療費の無償化について</li></ul>
その他 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 公園の管理は誰がしているのか</li><li>・ 白線や停止線が消えている</li><li>・ 空き家や雇用促進のはなしがたかった</li><li>・ ホームページなど広報の仕方が悪くわかりづらい</li><li>・ 議会がチェック機能を果たしてほしい</li></ul>
グループ参加議員 (山内、赤塚)

# 議会報告会の報告書 No.1

提出日	令和元年 8月 23日 ( 金曜日)
班長名	杉村 義秀
記録者名	黒木 優一

開催日時	2019年 8月 18日 (日 曜日) 14時より		
開催場所	山之口シルバーヤングふれあいの里		
出席した議員	杉村 義秀	荒神 稔	音堅 良一
	神脇 清照	森 りえ	中村 千佐江
	岩元 弘樹	黒木 優一	
出席した 議長・副議長	榎木 智幸	永田 照明	
参加人数	3 人		
班の感想 (あればお書き下さい)	<p>公民館長会に出席できなかった事が響いて、集客に失敗してしまっただ。</p> <p>しかし、他の会場も少ないようであり、報告会に参加してもらうために、集客方法の抜本的な見直しが必要ではないだろうか。</p> <p>意見交換では少ない人数ではあったが、意見はよく出た。</p> <p>主に、山之口の現状についての意見が多かったため、1名参加された地区外の方は、なかなか意見が言えなかった。</p>		

\*班長は、記録者の報告書 (No.1とNo.2) を基に最終確認し、議会事務局へ提出して下さい。(提出期限は、報告会終了後一週間以内となっています。)



# 議会報告会の報告書 No.2

## 《第1部》 議会の報告

参加人数 ( 3 ) 名
報告内容 1、県立(山之口)陸上競技場の整備について ・基本計画、予算等について 2、花木団地建替え工事について ・条例改正、移転スケジュール
報告者 ( 神脇 清照 )

## 《第2部》 意見交換

※内容をグループごとにお書き下さい。スペースが足りない場合は適宜広げて構いません。

( ) グループ
参加人数 ( 3 ) 名
テーマ ( 結果的に山之口地区の現状と今後についてとなった )
発言内容 問題点として以下のような発言があった。 ・山之口の現状は素通りの町になっている。 ・企業誘致がなく働く場所がない。 ・高齢化が進み一人暮らしの高齢者の生活が難しくなっている。 ・買い物できる店がなくなってきている。 ・買い物支援車のミスマッチがあるのではないか。 ・団地や新しい住宅の住人は公民館に未加入である(加入率が減少)。 ・未加入世帯には情報が伝わらない。 ・公民館の役員をやる人がいなくなる。 ・県陸上競技場ができて人口及び商店の増加は見込めない。 ・弥五郎どんと人形浄瑠璃の伝統文化財があるが、後継者も指導者も継承が厳しくなってきた。 ・合併は間違いであった。本庁まで行かないとないけないことがあり高齢者にとって負担である。 ・施設等の老朽化(機器や備品を含む)が進んでいる。

意見として以下のような発言があった

- 山之口は比較的安全なところだ。
- 県陸上競技場は都城市全体の取り組みが必要である。
- 山之口駅のバリアフリー化も意見として説明会で出してほしい。
- 学校と連携し活性化事業の一環として大運動会を計画しているが、せっかく打ち合わせをした校長先生、教頭先生、教務主任がまとめて移動になり一から説明が必要となった。このような人事は考慮すべきだ。
- まちづくり協議会の中でもドローンや3Dプリンターなどを駆使している人もおり、活性化に取り組んでいる。
- 新しい団地にできる2棟の市営住宅には入居世帯の公民館加入について、考えてほしい。

グループ参加議員（ 出席議員全員 ）